日本の自治体施策に注目集まる

めぶくグラウンド クオプトイン機能を備えた本人デジタル証明の仕組み 「め |業や大学などに地球観測データを提供し、まちづくりに

生かす取り組みを行う。 インフォ・ラウンジと山手総合計画研究所が、XR(クロス | リアリティー)技術を用いた住民も参加可能な体験型の都 市設計ツール「Tangible Interface XR」を展示。

│野のサービスを展開。データ活用を通じた新たな価値創 │ 出、持続的なまちづくりに取り組む。 AIやバイオ技術を活用し未来の疾病リスクを解析するテ ソリューション | ジタルヘルスケアサービスを提供。また住民一人ひとりに イノベータ 必要な情報を届けるポータルも提供。

マートコミュニティ"を掲げ、地域住民のQOL向上に貢献 する地域インフラのスマート化を目指す。

イニシアティブ におけるスマートシティを実現するエッジコンピューティン | グ基盤「DX Edge マイクロデータセンター」を提供。 ボ」では、「Urban Well-being」をコンセプトにしたスマー

トシティに関する研究成果を出展。 「Re:Earth」を東京大学渡邉英徳研究室と共同開発。時 | 系列浸水データを用いた3D避難経路シミュレーション マップ等を展示

スペイン発祥のスポーツ「パデル」の普及を通じた地域住 民、コミュニティー間のエンゲージメント、Well-Being 向上と日西間をはじめとする都市間交流推進を提言。



Well-Beingを感じるのは人です。それゆえ、本人同 意の上に、個人にフォーカスした個別最適なサービスを 提供するための人とシステムをつなぐデジタルID及び最 高水準のセキュリティによる個人に関する情報のデータ 連携が重要な鍵を握っています。デジ田交付金type3 を2年連続で採択されている前橋市と創ってきためぶく IDとそのデータ連携基盤は、どの個人情報をどのサー ビスで使うか、利用者自身で管理できる「ダイナミック オプトイン*゙」を備えていることから、SCEWCでは海 外・国内視察の皆様から「まさに今、社会が求めている ものだ」と高い評価を頂きました。この仕組みは既存の データ連携基盤と組み合わせることも可能であることか ら、Well-Beingを享受できる社会に必要なデジタル化

代表取締役社長 福田 尚久氏



ゼロカーボン・ Well-Being社会の 実現に向けて

欧州の技術革新ハブに頭脳流入

クリスチャン・パスクアル氏



バルセロナ・スーパーコンピューティング・センター データ分析・視覚化責任者 フェルナンド・クチェッティ氏



観光・防災で未来を切り拓く



ニウレカット・テクノロジーセンター・オブ・カタルーニャ デジタルテクノロジーディレクター ジョアン・マス氏



スを開設し、スマートシティ関連施策を

BHHが拠点として活用している世界遺

スマートシティエキスポ ディレクター

つくば市の五十嵐立青市長 (右から2人目) も登壇し、自治体でのデータ活用方法

街の幸福感向上を目標に

脱炭素ヘデジタルツインも駆使

7~9日にスペインのバルセロナで開催された。今年はメイ ら1100超の企業・団体が出展した。来場者も2万5300*人* に達し、会期中は展示のほか講演や討論会も実施され、カー ボンニュートラル都市の実現や都市政策におけるデータ活用な ど都市経営における喫緊の課題で提言や議論が交わされた

世界最大級のスマートシティ関連イベントである「スマート

シティエキスポ ワールドコングレス (SCEWC)」が 11月

SMARTCITY

EXPO WORLD CONGRESS

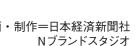
Smart City Expo World Congress

、。主催するFira de Barcelonaはバルセロナ市、カタルーニャ州政府 23年は過去最大規模となり、展示面積は昨年比55%増、来場で 数も23%増えた。マレーシア、インドネシアが初出展し注目を集めた ほか、欧州委員会、国連人間居住計画(UN-Habitat)は広域市町村 民間企業やコンサルティング大手も参加した。今年は「トゥモロー・ ルディング」(建築)、「トゥモロー・モビリティー」(交通と移動)および 「トゥモロー・ブルーエコノミー」(海洋環境と経済)の3イベントも同 時に一体開催し焦点を絞ったテーマでディスカッションを展開するとと

2011年からバルセロナ市新市街の展示会場「Fira Barcelona Gran

a」で毎年11月に開催される世界最大級のスマートシティ関連イベン





企画・制作=日本経済新聞社 Nブランドスタジオ

持続可能な都市の発展に向けて都市間協働を推進へ

協

賛

インフォラウンジ

Orchestrating a brighter world







市民主権のデジタル基盤により 個に寄り添ったサービスの実現・普及に貢献します

横展開を推進したいと考えております。 ※1 ダイナミックオプトインは日本通信の登録商標です

KPMGコンサルティング株式会社

https://oooooooooooooooo



上)「めぶくID」を紹介する

(下)シアターで講演する名護

見出し〇〇〇〇〇〇〇

KPMGコンサルティングは「地方から日本を輝かせ ウフルは 「SMOOTH WORLD」 というビジョ る」をモットーに "日本らしいスマートシティの実現" を ンを掲げ、日常の「無理・無駄」を解消し、人々 多くの都市でご支援しています。人口減少、教育格差 と社会がストレスなくスムーズに機能する持続可 中央市街地の空洞化、交通弱者など、日本の地方都 能な未来を目指しています。自社サービス群 市は多くの社会課題を抱えています。その一方で、地 「CUBE 01」を駆使し、住民、企業、自治体と 方ならではの人のつながりやコミュニティ、文化、芸術 共に、40以上の地域でスマートシティ化に取り 自然、など多くの人が共鳴・共創しあえるたくさんの 組んできました。私たちは、観光客が安心して 資産が存在します。我々が有する構想力や先進テクス ロジー等の知見、そして多様な企業・人をつなげオー 訪れ、地元住民が安全に暮らせる町づくりに注 ケストレートしていく力を最大限に発揮して、これか 力しています。これからも、観光・防災分野の らも人々の心の豊かさや笑顔をたくさん創り出すよう 強みを活かしながら、全国各地でスマートシティ なスマートシティの実現に邁進して参ります。 化を推進することで、持続可能な未来への道を

代表取締役社長 CEO 園田 崇史氏

切り拓いていきます。

株式会社ウフル

https://uhuru.co.jp/

Internet Initiative Japan

オープンイノベーションによりWell-Being社会の実現へ

IIJはインターネット技術で 社会課題を解決します

IIJは1992年の創業以来、技術力を強みに日本のイ ンターネットの発展をリードし、ITによって数々の社 会課題の解決に貢献してきました。

SCEWC23では、世界のあらゆる場所でスマートシ ティを実現する「DX edge マイクロデータセンター」 を出展しました。DX edgeは医療・教育・農業・災害 対策など、エッジコンピューティングの活用が期待さ れる幅広い分野に適用可能な分散管理プラットフォー で地域のDXを支援するサービスを提供することができ

IIJはこれまで培ってきたインターネット技術を活か 、多様な社会課題の解決と、人の暮らしをますます 豊かにするスマートシティの実現に貢献していきます。

https://www.iij.ad.jp/

株式会社インターネットイニシアティブ



AB eam Consulting®

アビームコンサルティングは 都市経営の実現に貢献します

スマートシティ実現に向け目指す「コンセプト」が固 まりつつあり、具体的な実績をもとにした「都市経営 のあり姿」を提示するステージに来ています。 が両立する知の変革を主軸とした維持可能な社会の実

現」であると見定め、いち早くその世界観を伝えるこ ています。当社は、スマートシティの取り組みと、都 市経営の実現及び国内外への発信・展開を広くご支援 していきます。

Digital X Innovation ビジネスユニット長 橘 知志氏





ご協力いただきました関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

一般社団法人スマートシティ・インスティテュート(SCI-Japan

国内外の政府関係機関など約700の会員数を誇る。地域のWell-Beingを計測する地域幸福度(Well-Being)指標を開発し、デジタル 田園都市国家構想のもと政府と連携しながら自治体への普及活動を進めている。海外事業の柱であるバルセロナSCEWC日本パビリ

ションの海外への情報発信や海外との都市協働推進、スタートアップ発掘の機会としてご期待ください。

Smart City Expo World Congress (SCEWC) 2023

日本パビリオン・視察研修団

盛況御礼

SCI-Japan は、バルセロナ SCEWC にて昨年に引き続き日本パビリオン及び視察研修プログラムを実施

来年のSCEWCは、2024年11月5日~7日に開催されることが決まりました。SCI-Japanでは、「日本パ

ビリオン」の開設、会員向けの視察研修プログラムの実施を計画中です。持続可能なスマートシティモデル

の構築を担う都市経営人材の育成、Well-Beingの向上を目標とする日本型スマートシティの先端ソリュー

しました。東京ブースと日本パビリオンとを合わせた日本の展示面積は409平米と昨年比50%増に拡大し

ました。日本政府・関連機関、自治体、企業、大学からご参加いただきました総勢192人の日本視察団







